

最高の観光資源 駒止湿原 保存か活用か その未来は

【町長】 全国に先駆けた自然との共生のあり方を発信していきたい



湯田 哲 議員

湿原の現状は、木道の影響により荒廃し、乾燥化も進み、保存と活用の両立が難しいのも事実です。現在、天然記念物駒止湿原保存管理計画策定委員会で、保存対策と活用について検討しています。この計画には、駒止湿原の希少価値と自然環境の保全に対する新しい考え方が盛り込まれますので、今後、全国に先駆けた自然との共生のあり方を発信していきたいと考えています。

【町長】 駒止湿原が地域経済に与える効果は、今のところ余り多くないと認識しています。



巡見使の道の整備作業

【町長】 この取り組みは、平成17年度から里山再生事業のモデル地区として、住民の方々を中心に計画づくりを行い、地域との協働によるまちづくりの先駆けとして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

今後の役割は、巡見使の

また、駒止湿原を含む針

ボランティアで整備している 巡見使の道 今後の役割は

【町長】 地域経済や新規雇用の創出に役立てたい

【町長】 針生地区にある巡見使の道は、戦国時代頃からの貴重な歴史の道である。この整備は、ボランティアにより毎年少しずつ続けているが、今後、町の観光、経済にとってどのような役割を果たしていくのか。

道が南郷地域の東地区へつながっていること、駒止湿原へ運動できる可能性があるといった地理的特徴や、歴史的、あるいは自然的、環境的な価値を考えると、新たな観光資源として、都市との交流の場として活用が期待されるほか、学習の場や癒やしの空間として提供できるなど、さまざまな役割を持ち得る大変貴重なエリアととらえています。これらの役割が具体的になる中で、地域の経済や新たな雇用の創出に寄与していくものと考えます。

また、駒止湿原を含む針

民間による温泉開発 町民に夢とチャンス

【町長】 旧田島町の調査結果は慎重に取り扱う

【町長】 旧田島町で平成2年に実施した大がかりな温泉調査の結果は、温泉が出る可能性の高いところが幾つか見つかり、調査結果は掘りたい人には教えるとのことだった。現在の町の財政状況では新たな温泉開発が困難なので、個人や企業が最新技術で調査し、掘削に挑戦するチャンスと夢を町民に与えるため、その情報を公開してはどうか。

興計画及び土地利用計画に基づく開発事業を行う場合や、住民の福祉向上に役立つ事業を行う場合は、資料を提供できることになっていきます。なお、資料の提供による混乱、第三者への迷惑などが生じないよう、申請する土地だけの情報を提供し、その取り扱いには慎重に行っています。

【町長】 旧田島町で、平成2年にヘリコプターによる空中探査を行い、結果資料の取り扱いについては、議会総務委員会などの意見を参考に、空中温泉探査結果資料取扱要綱を制定し、これに基づき資料を管理してきました。町村合併後も、従来の方針による規則を定め、掘削希望者は資料を閲覧できることとし、町の総合振

【再問】 家の風呂を使わないで温泉を利用すれば、燃料の節約、二酸化炭素の削減となるので、地球温暖化防止対策として、町ぐるみで取り組んではどうか。

【町長】 健康づくり、温泉療法など、医療費の削減という政策を考えています。暮らしの中の温泉活用として、二酸化炭素の削減効果も一つの新たな素材、切り口として考えてみたいと思います。

【再問】 健康づくり、温泉療法など、医療費の削減という政策を考えています。暮らしの中の温泉活用として、二酸化炭素の削減効果も一つの新たな素材、切り口として考えてみたいと思います。

優良ガイドなどの需要も生まれる可能性もあり、地域経済への波及効果を高めていきたいと考えています。